

<p>国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町 68 番地 N T T 054-284-3608 発行責任者 半場弘恭 2023 年 3 月 14 日 No.37</p>
--	-----------------------------	-----------	---

2023JR総連春闘を職場から闘おう⑤

食料品・日用品・電気・ガス等の値上げが

私たちの労働力の再生産を脅かしている

まだまだ続く物価上昇から生活を守るため

にも、ベア・夏季手当要求の満額支給を！

2021年の終わり頃から、食料品やエネルギーなどの値上げが始まり2022年も多くの分野で値上がりが相次ぐ中で、2023年の春闘が闘われています。

物価高は原材料価格の高騰が要因となっています。原材料価格が高騰した原因の一つは、新型コロナウイルス感染症の拡大が一旦落ち着き世界的に経済が回復して、需要に対して生産や物流が追いつかなくなったことがあります。2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻が始まって物流が停滞したこと、もともとの原材料価格の高騰が激化しました。穀物大国である両国からの輸出の激減は、飼料費や小麦などの値上がり、日本はロシアからカニやサケなどの水産物、ウクライナからは食用油を多く輸入していたため、それらを原材料とする食料品にも影響が出ています。ロシアは原油や天然ガスの主要産出国でもあることから、原油価格の高騰が続き、あらゆる面で値上げラッシュに拍車をかけています。食品主要105社の2023年の値上げ予定は4,000品目を超えるという調査データも公表されており、まだまだ物価上昇が続くと考えられます。

労働者の生活が困窮しては、まともに働くことさえできません。

生活防衛・生活向上のために、賃上げや手当の大幅要求は、

不可欠です。私達自身と家族のために堂々と主張しよう！